

従業員向け	児童発達支援評価表
-------	-----------

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		活動スペースを用途別に分け安全に配慮した環境を整備し安心して過ごせる支援を行っている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		児童の特性や人数に応じて職員配置を調整し、安全に配慮した支援体制を整えている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		視覚支援を活用し一日の流れを明確にすることで安心して行動できる環境を整えている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		清掃や消毒を毎日徹底し清潔で安心して過ごせる生活環境を維持している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		個別対応やクールダウンのための空間を確保し状態に応じた支援を行っている。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		朝礼や終礼で支援内容の振り返りを行い日々の業務改善につなげている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者アンケートを実施し意見を職員間で共有し支援改善に反映している。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員会議で現場の意見を共有し課題を整理して業務改善に取り組んでいる。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	第三者による外部評価を実施する機会が現時点では設けられていないため、今後は外部の視点を取り入れられる体制を検討し、客観的な評価を業務改善につなげていく必要がある。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		外部及び内部研修の機会を確保し職員の専門性と支援力向上を図っている。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		HPや事業所での掲載。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		面談や聞き取りを通して児童と保護者のニーズを把握し計画に反映している。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		ケース会議を実施し多角的な視点から支援内容を検討し計画に反映している。
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		支援計画を職員間で共有し誰が対応しても統一した支援を行えるようにしている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		日々の記録や行動観察を通して児童の変化や課題を継続的に把握している。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインに基づき 本人支援や家族支援を踏まえた計画を作成している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員間で意見を出し合いながら 活動プログラムを計画し実施している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		季節行事や新しい活動を取り入れ 活動の固定化を防ぐ工夫を行っている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		個別活動と集団活動を組み合わせ 児童の状態に応じた支援を行っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		支援前に職員間で打合せを行い 役割分担や支援内容の確認を徹底している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援後に職員間で振り返りを行い 気づきや課題を共有し改善につなげている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		日々の支援記録を作成し 内容を検証しながら支援改善に活用している。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的にモニタリングを行い 支援計画の見直しを適切に実施している。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児童の状況を理解している職員が 会議へ参加し情報共有を行っている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		医療教育福祉機関と連携し必要な情報共有を行い 支援に活かしている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		インクルージョンの視点を持ち 関係機関と連携した支援を行っている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		就学時に必要な情報を学校等へ共有し 円滑な移行支援を行っている。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		5	地域の児童発達支援センター等から助言や研修を受ける機会が 十分ではないため、今後は必要に応じて連携し、専門的な支援力向上につなげていく必要がある。

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもの交流機会が十分に設けられていないため、今後は地域とのつながりを意識した活動機会を検討していく必要がある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5		保護者と日々情報共有を行い発達状況の共通理解を図っている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		家族への助言や情報提供を行い家庭での支援につなげている。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に運営内容や支援内容について丁寧に説明し理解を得ている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		支援計画作成時に保護者の意向確認を行い内容に反映している。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		支援内容を説明し同意を得た上で計画に基づいた支援を行っている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		相談に応じ必要に応じて面談を行い適切な助言と支援を行っている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		保護者同士の交流機会について今後の実施に向け検討を進めている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		相談体制を整備し迅速かつ適切な対応を行うよう努めている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		通信やお便りを通して活動内容や予定を保護者へ発信している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報の管理を徹底し適切に取り扱い情報保護に努めている。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		分かりやすい伝達方法を工夫し円滑な意思疎通を図っている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		地域との関わりを意識した運営を行い開かれた事業所を目指している。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各種マニュアルを整備し訓練を実施し緊急時対応力を高めている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		業務継続計画を策定し災害時や非常時に備えた対応を行っている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	健康状態や服薬情報を事前に把握し支援に活かしている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		食物アレルギー情報を確認し安全に配慮した対応を行っている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画に基づき研修や点検を行い安全管理を徹底している。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		安全に関する取組内容を保護者へ周知し理解を得ている。

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットを共有し再発防止に向けた取組を行っている。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止研修を実施し職員の意識向上と理解促進を図っている。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		身体拘束は最小限とし事前説明と同意のもと適切に対応している。

保護者向け

児童発達支援評価表

(保護者の皆さまへ)

○本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用するお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5		活動スペースを用途別に分け安全に配慮した児童の特性や人数に応じて職員配置を調整		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5		視覚支援を活用し一日の流れを明確にする。清掃や消毒を毎日徹底し清潔で安心した		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5		個別対応やクールダウンのための空間を確保		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5		朝礼や終礼で支援内容の振り返りを行い		
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5		保護者アンケートを実施し意見を職員間で共有し課題を整理して業務改善		
	6 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5		外部評価を実施する機会が現時		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	5		部研修の機会を確保し職員の専門		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5		HPや事業所での掲載		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。		5			
	10 事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5				
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5				
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5		面談や面談を取り通して児童と保護		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5		を実施し多角的な視点から		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5		支援計画を職員間で共有し誰が対応して		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5		日々の記録や行動観察を通して		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5		児童の変化に基づき本人支援や		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5		家族支援を職員間で意見を出し合いながら		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5		活動プログラムや季節行事や新しい活動を取り入れ活動の固定化を防ぐ工			

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5		個別活動と 集団活動を 組み合わせ 児童の状態 に応じた支 援策に職 員間で打合 せを行い 役割分担や 支援後に職 員間で振り 返りを行い 気づきや課 記録を作成 し 内容を検証 定期的な 定例的に ニタリング を行い 支援計画の 充実に を理解して いる職員が 会議へ参加 社機関と連 携し必要な 情報共有を 行う		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5				
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5				
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5				
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	5				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。					
	29	事業所の支援に満足していますか。					

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「児童発達支援計画（個別支援計画）」は、児童発達支援を利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	年 月 日	～	活動スペースを用途別に分け安全に配慮した環境を整備し安心して過ごせる支援を行っている。
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)
○従業者評価実施期間	年 月 日	～	児童の特性や人数に応じて職員配置を調整し、安全に配慮した支援体制を整えている。
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		視覚支援を活用し一日の流れを明確にすることで安心して行動できる環境を整えている。清掃や消毒を毎日徹底し清潔で安心して過ごせる生活環境を維持している。
			個別対応やグループワークのための空間を確保し状態に応じた支援を行っている。

○分析結果	5		
	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	5	保護者アンケートを実施し意見を職員間で共有し支援改善に反映している。
1		5	職員会議で現場の意見を共有し課題を整理して業務改善に取り組んでいる。
2			第三者による外部評価を実施する機会が現時点では設けられていないため、今後は外部の視点を取り入れられる体制を検討し、客観的な評価を業務改善につなげていく必要がある。
3		5	外部及び内部研修の機会を確保し職員の専門性と支援力向上を図っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	5	HPや事業所での掲載。
		5	面談や聞き取りを通して児童と保護者のニーズを把握し計画に反映している。
1		5	ケース会議を実施し多角的な視点から支援内容を検討し計画に反映している。
2		5	支援計画を職員間で共有し誰が対応しても統一した支援を行えるようにしている。
3		5	日々の記録や行動観察を通して児童の変化や課題を継続的に把握している。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		5	5	5	公表日	年 月 日	利用児童数	年 月 日	回収数
チェック項目		5	どちらとも いえない	5	わからない		ご意見		ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5		利用や消毒を毎日徹底し清潔を心がけてクールダウンのための空間を確保				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5		朝礼や終礼で支援内容の振り返り				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5		保護者アンケートを実施し意見を職員間で共有し				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5		現場の意見を共有し課題を整理				
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5	5	第三者による外部評価を実施する機会が現時				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5		部研修の機会を確保し職員の専門				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5		HPや事業所での掲載。				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5		面談や聞き取りを通して児童と保護者のニーズ				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5		グループ会議を実施し多角的な視点				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5		から支援計画を職員間で共有し誰が対				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5		応し活動記録や行動観察を通して児童の變化				
保護者への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5		に基づき本人支援や家族支援を				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5		職員間で意見を出し合いながら活動プログ				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5		新しい活動を取り入れ活動の固定				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	5		集団活動を組み合わせ児童の状態				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5		支援前に職員間で打合せを行い				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5		役割分担や職員間で振り返りを行い				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5		毎日々や連日日々の支援記録を作成し内容を検証しながら支				
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5		定期的なモニタリングを行い支援計画の見直しを適					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5		児童の状況を理解している職員が会議へ参加			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5		会議へ参加 社機関と連携し必要な 情報共有を			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5		情報の共有を ジョンの視点を持ち 関係機関と			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5		関係機関と必要な情報を 学校等へ共有し			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。						
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。						
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。						
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。						
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。		5	地域の児童 発達支援センター等から 助言や研			
	29	事業所の支援に満足していますか。						

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名					公表日	年 月 日
	チェック項目	5	5	いいえ	活動スペースを用途別に分け安全に配慮した児童の特性や人数に応じて職員配置を調整し、	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		視覚支援を活用し一日の流れを明確にすることで安心して行動できる環境を整えている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		清掃や消毒を毎日徹底し清潔で安心して過ごせる生活環境を維持している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		個別対応やクールダウンのための空間を確保し状態に応じた支援を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		朝礼や終礼で支援内容の振り返りを行い日々の業務改善につなげている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		保護者アンケートを実施し意見を職員間で共有し支援改善に反映している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		職員会議で現場の意見を共有し課題を整理して業務改善に取り組んでいる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	5	第三者による外部評価を実施する機会が現時点では設けられていないため、今後は外部の視点を取り入れられる体制を検討し、客観的な評価を業務改善につなげていく必要	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		外部及び内部研修の機会を確保し職員の専門性と支援力向上を図っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		HPや事業所での掲載。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		面談や聞き取りを通して児童と保護者のニーズを把握し計画に反映している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		ケース会議を実施し多角的な視点から支援内容を検討し計画に反映している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		支援計画を職員間で共有し誰が対応しても統一した支援を行えるようにしている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		日々の記録や行動観察を通して児童の変化や課題を継続的に把握している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		ガイドラインに基づき本人支援や家族支援を踏まえた計画を作成している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		職員間で意見を出し合いながら活動プログラムを計画し実施している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		季節行事や新しい活動を取り入れ活動の固定化を防ぐ工夫を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		個別活動と集団活動を組み合わせ児童の状態に応じた支援を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		支援前に職員間で打合せを行い役割分担や支援内容の確認を徹底している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		支援後に職員間で振り返りを行い気づきや課題を共有し改善につなげている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		日々の支援記録を作成し内容を検証しながら支援改善に活用している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		定期的にモニタリングを行い支援計画の見直しを適切に実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		児童の状況を理解している職員が会議へ参加し情報共有を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		医療教育福祉機関と連携し必要な情報共有を行い支援に活かしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		インクルージョンの視点を持ち関係機関と連携した支援を行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		就学時に必要な情報を学校等へ共有し円滑な移行支援を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5		地域の児童発達支援センター等から助言や研修を受ける機会が十分ではないため、今後は必要に応じて連携し、専門的な支援力向上につなげていく必要がある。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもとの交流機会が十分に設けられていないため、今後は地域とのつながりを意識した活動機会を検討していく必要がある。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5		家族への助言や情報提供を行い家庭での支援につなげている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		契約時に運営内容や支援内容について丁寧に説明し理解を得ている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		支援計画作成時に保護者の意向確認を行い内容に反映している。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		支援内容を説明し同意を得た上で計画に基づいた支援を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		相談に応じ必要に応じて面談を行い適切な助言と支援を行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		保護者同士の交流機会について今後の実施に向け検討を進めている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		相談体制を整備し迅速かつ適切な対応を行うよう努めている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	通信やお便りを通して活動内容や予定を保護者へ発信している。		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	個人情報の管理を徹底し適切に取り扱い情報保護に努めている。		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	分かりやすい伝達方法を工夫し円滑な意思疎通を図っている。		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		地域との関わりを意識した運営を行い開かれた事業所を目指している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	各種マニュアルを整備し訓練を実施し緊急時対応力を高めている。		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	業務継続計画を策定し災害時や非常時に備えた対応を行っている。		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	状態や服薬情報を事前に把握し支援に活かしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	食物アレルギー情報を確認し安全に配慮した対応を行っている。		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	安全計画に基づき研修や点検を行い安全管理を徹底している。		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	安全に関する取組内容を保護者へ周知し理解を得ている。		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	ヒヤリハットを共有し再発防止に向けた取組を行っている。		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	虐待防止研修を実施し職員の意識向上と理解促進を図っている。		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	身体拘束は最小限とし事前説明と同意のもと適切に対応している。		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。					
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。					